

■第2回リニア駅周辺整備デザイン会議における意見対応

項目	主なご意見(当日の課題)	取組方針
機能・運営	駅の機能としての一番大事な部分をしっかり押さえた上でつくっていく必要がある。イメージを明確にすることが必要だと思う。	<ul style="list-style-type: none"> デザインノートに記載してある「トランジットと、にぎわい・交流」をテーマに、基本設計を進めることとしています。 よりイメージが共有できるよう、現在、模型(1/300)を作成していますので、次回のデザイン会議に提示させて頂く予定です。
	駅が多様な機能を持つ必要があるのではないか。情報発信できる場所、休憩スペース、食事スペース、子どもから高齢者までの休憩スペース等を、どのように配置するかが重要な要素だと思う。	<ul style="list-style-type: none"> 運営管理の方法についても、今年度から具体調査に着手する予定ですので、WSの結果も含めて、市民や事業者等からの意見も踏まえながら設計を進めます。 障害者団体等にも意見を聞きながら設計を進めます。
	事業主体は一体誰なのか。維持管理を行う上で、どういう収入があって、その事業収入でこの広大なエリアをどう運営するのか。	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場を含め、施設の運営管理の方法についても、今年度から具体調査に着手する予定です。
乗換環境	高度なトランジットハブというところと、ここをどうやってにぎわいを持つかというところの調整が一番大事だと思う。	<ul style="list-style-type: none"> WSでも同様の意見を頂いており、デザインノートに記載してあるよう「トランジットと、にぎわい・交流」をテーマに、基本設計を進めることとしています。
	駐車場や広場的なものが多い。コミュニティ広場についてはありがたいが、スピーディーに乗り換えられるところとの関連がどうなっているのか。	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計案も含めて、今回の資料に乗換距離を示してありますが、長野駅等の他の駅と比べても同等もしくは、短くなる計画です。また、高架下空間には、移動しながら情報を得ることや、買い物や体験ができるよう検討を進めています。
	地域内の二次交通が大事になってくるので、その部分の検討と調整が必要だと思う。	<ul style="list-style-type: none"> 長野県が「リニア中央新幹線長野県駅とのアクセス(二次交通)に係る調査」を実施していますので、当該調査結果を活用しながら、基本設計に反映していきます。
	降りた人はどこへ行くのか。逆に、車で乗り付けた人はどう動くか。この動線がわかるようにしていただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 今回の資料に移動手段別の移動動線を示しています。また、改札から駅ホームまでの移動については、JR東海で検討をされています。
	JRの乗り換え新駅までの人の動線はどうなるのか。	<ul style="list-style-type: none"> 今回の資料に記載のとおり、北口の交流広場から県道市場桜町線を通り、新駅までの動線を確保する計画ですが、具体内容については、JR東海と継続して協議を行っていきます。
交通計画	国道153号を右折し、座光寺上郷道路から北口の駐車場に入るところをスムーズにできるか確認が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> 学識者専門会議における指導も頂きながら交通シミュレーションを実施しています。結果として、土曾川横断道路の設置したことにより、基本計画時より渋滞が軽減されることとなります。
	将来的に交通量が多くなるのではないかと考えており、信号がどのくらいあるかわからないが、アクセスが本当にこのままの状態ですんなりなのか心配である。	<ul style="list-style-type: none"> 警察協議を進めています。信号設置箇所は、図示のとおり5箇所を予定しています。

項目	主なご意見(当日の課題)	取組方針
駐車場	図面を見たときに、駐車場が多いと感じた。駐車場をどう隠すか、何かデザインしながら隠すということが必要ではないか。	<ul style="list-style-type: none"> 北口駐車場(パーク&ライド駐車場)の一部について多目的に利用できるように配慮するほか、緑化等を含めて、WSを実施しながら景観デザインを検討していきます。
	北口のパーク&ライドの駐車場の県道寄りの位置について、どれぐらいのところに建つのか。	<ul style="list-style-type: none"> WSの結果も踏まえ、現在、模型(1/300)を作成していますので、次回のデザイン会議に提示させて頂く予定です。 計画高としては、県道市場桜町線と北側進入路との交差点高が約444m、立体駐車場の1階部が約439m、2階部が約442m、屋上部が約445~446mとして設計を進めています。
	駐車場の可変性とは、どのような考えか。	<ul style="list-style-type: none"> 北口駐車場(パーク&ライド駐車場)の一部について多目的に利用できるように配慮しています。また、駐車場の運営管理の方法についても、今年度から具体調査に着手する予定です。
排水・調整池	雨水排水の問題、土曾川との関係について、地元の要望等も加味しながら、検討して欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> 雨水排水、調整池等について、今後、地域の方々と協議を行い、更に設計を進めながら、長野県飯田建設事務所と調整をしていきます。
	土曾川が近いため、河川から見たときの安全性について、若干懸念される面もあるので、検討いただくときはその辺の配慮もお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none"> 飯田市ハザードマップ上、リニア駅周辺における土曾川は、河川の浸水想定区域ではない位置づけですが、安全に配慮し、設計を進めています。 雨水排水、調整池等について、今後、地域の方々と協議を行い、更に設計を進めながら、長野県飯田建設事務所と調整をしていきます。

※学識者からの意見については、別途、学識者専門会議、個別協議にて実施していますので省略しています。